

## 「バイクと社会」 1 バイクの魅力



バイクの魅力は何でしょうか。

バイクに乗ったことがある人は、少しわかると思います。バイクの魅力は、風やスピードを全身で感じること、遠くまで行けること、一人になっていろいろなことが考えられること、カッコいいこと、不便なこと、危ないことなどです。

バイクは、車と違って、ドアやフロントガラスや屋根がありません。だから風やスピードを全身で感じます。その気持ちよさは、乗った人にしかわかりません。また、バイクは見た目が派手だったり、エンジンが見えていたりします。見た目が特別な乗り物です。だから、バイクに乗っているときはマンガや映画の人になったような気分です。これらは、わかりやすいバイクの魅力です。

バイクは、不便なことや危ないこともあります。ふつうそれらは、魅力じゃなくて、欠点です。しかし、私は不便なことや危ないこともバイクの魅力だと思います。

まず、不便なことです。車は何人も人が乗れますが、バイクは一人か二人しか乗れません。そして、ふつう一人で乗ります。また、バイクは車に比べて小さいので、荷物がほとんど載せられません。それに、屋根がないから、雨のときに濡れてしまいます。たしかに、バイクは不便な乗り物です。しかし、このよ

うな「不便」は、「自由」につながっています。

たとえば、一人しかバイクに乗れないことは、自分一人の時間が持てるということです。ほとんど荷物が載せられないなら、荷物を持っていかなければいいのです。天気が悪かったら乗らなければいいし、一人で乗るから、どこに行くか、いつ帰るかも自由です。「不便」だから、「自由」になれるということです。

もう一つの大きな魅力は、バイクが危ない乗り物だということです。危ないことが魅力だと言うと、変な人のように思うかもしれません。でも、そうではありません。

バイクに乗るときには、体を全部使います。右手で前のブレーキをかけます。右足で後ろのブレーキをかけます。左手でクラッチを使います。クラッチは、ギアを変えるときに使うものです。そして左足でギアを変えます。それだけではありません。曲がるときには、体でバイクを少し倒すし、ブレーキをかけるときには、しっかり足で体を支えます。目はいつも前の車や道路や歩いている人を見えています。耳では周りの音を聞いています。このように、バイクに乗るときには体全部を使っているのです。だから、上手に体を使えなかったら、バイクに上手に乗れません。バイクは車に比べてスピードが出るので、運転が下手だとバイクは危険な乗り物になってしまいます。だから、「危ないのが魅力」という言葉の意味は、危なくないように乗るためには、運転が上手にならなければならないということです。バイクは、自分の運転の技術がよくわかる乗り物です。それが魅力の一つなのです。

バイクの魅力がわからない人は、まず、だれかの後ろに乗せてもらってください。そうすれば、バイクの気持ちよさがわかると思います。それがわかったら、次は免許を取って自分で運転してみてください。そうすると、「不便なこと」「危ないこと」が魅力だということが、きっと分かるはずです。

(1285 字)

(2020.12 Written by Toru YOSHIKAWA)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.